

* 米国本社リリース参考訳

* 公式リリースは[P & G米国本社サイト](#)をご覧ください。

P & G 2025/26 事業年度 第4四半期(4-6月期)業績

第4四半期：純売上高 2%増、本源的売上高増減なし

希薄化後 1株当たり純利益 15%減、1株当たり中核利益 3%減

通期：純売上高 3%増、本源的売上高 1%増

希薄化後 1株当たり純利益 2%増、1株当たり中核利益 1%増

2026年7月29日 米国シンシナティ発

ザ・プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー(NYSE:PG)は、2026事業年度第4四半期と通期の業績を発表しました。

社長兼最高経営責任者(CEO)シャイレッシュ・ジェジュリカーは、次のように述べています。

「2026年度は、厳しい地政学的・経済的環境にありながらも、増収増益を継続して達成し、株主の皆様への高水準の資金還元を実現するとともに、将来に向けての基盤づくりを進めた一年となりました。2027年度も引き続き不透明な環境が続くとみていますが、これらの主要指標すべてにおいて前進できると考えています。持続可能でバランスの取れた成長を実現する最善の方法は、当社の戦略をさらに強力に推進し、あらゆる活動において消費者を第一に考えることです。優れた価値をもつ優れた製品によって消費者に喜んでいただけるよう、より強固で統合的な実行力で取り組んでまいります。私たちは半期ごとに成長を加速させる計画に自信を持っており、そのための投資は、強力な生産性向上計画によって支えられています。消費者からの支持は着実に拡大しており、今後の長期的な成長機会に大きな期待を寄せています。」

単位：十億ドル、ただし1株当たりの数値を除く

通期							
米国会計基準	2026年度	2025年度	%増減	会計基準外。	2026年度	2025年度	%増減
純売上高	\$87.0	\$84.3	3%	本源的売上高	—	—	1%
希薄化後1株当たり利益	\$6.62	\$6.51	2%	1株当たり中核利益	\$6.89	\$6.83	1%

単位：十億ドル、ただし1株当たりの数値を除く

第4四半期(4-6月期)							
米国会計基準	2026年度	2025年度	%増減	会計基準外。	2026年度	2025年度	%増減
純売上高	\$21.2	\$20.9	2%	本源的売上高	—	—	—%
希薄化後1株当たり利益	\$1.26	\$1.48	-15%	1株当たり中核利益	\$1.43	\$1.48	-3%

* 定義と、その関連のある米国会計基準上の指標との差異説明は、添付書類1：米国会計原則で規定されない財務指標をご参照ください。

2026 事業年度通期の業績

2026 事業年度通期の純売上高は、為替レートからの 2%の好影響と価格改定からの 1%の好影響により、前年同期比 3%増の 870 億ドルでした。販売数量とミックスは、前年同期に対して同水準でした。為替レートの影響と事業の買収・売却の影響を除いた本源的売上高は、価格改定により 1%増加しました。

希薄化後 1 株当たり純利益は、純売上高の成長、および、発行済株式数の減少が、売上総利益率の減少、および、販売費及び一般管理費 (SG&A) の増加で一部相殺され、前年に比べ 2%増加の 6.62 ドルとなりました。1 株当たり中核利益は、1%増加して 6.89 ドルになりました。為替レートの影響を除く 1 株当たり中核利益は、前年の 1 株当たり中核利益に対して同水準でした。

当社の営業キャッシュフローは 196 億ドルで、通期の純利益は 161 億ドルでした。また、調整済フリーキャッシュフロー生産性は 100%となりました。これは、営業キャッシュフローから設備投資額およびその他特定項目を差し引いた調整済フリーキャッシュフローを、2026 事業年度に実施した「グラッド」の合併事業解消益を伴う利益を除いた純利益で割って算出した指標です。

当社は、2026 事業年度を通じて、102 億ドルの配当金と 50 億ドルの自社株式の買い戻しにより、合計 150 億ドル超を株主の皆様に戻しました。2026 年 4 月の増配で、P & G は、70 年連続の増配と、1890 年の株式会社化以来、136 年連続の配当を記録しています。

4-6 月期の業績

当社は、2026 業年度第 4 四半期の純売上高が、前年同期に対し 2%増加の 212 億ドルであったと発表しました。為替レートと端数処理は、1%の好影響をもたらしました。販売数量、価格改定、ならびに、ミックスは当四半期の売上高成長に影響を与えませんでした。事業の買収・売却の影響と為替レートの影響を除いた本源的売上高は、前年同期と比べて同水準でした。

希薄化後 1 株当たり純利益は、前年同期と比べ 15%減少し、1.26 ドルでした。これは、純売上高の増加を上回る、販売費及び一般管理費 (SG&A) の増加と売上総利益率の減少によるものでした。1 株当たり中核利益は、3%減少して 1.43 ドルになりました。為替レートの影響を除く 1 株当たり中核利益は、前年同期の 1 株当たり中核利益に対して 5%減少しました。

営業キャッシュフローは 51 億ドル、純利益は 31 億ドルで、調整済フリーキャッシュフロー生産性は 133%でした。

各事業セグメントの4-6月期について

2026年4-6月期	販売	為替	価格				本源的	本源的
純売上高増減要因(1)	数量	レート	改定	ミックス	その他(2)	純売上高	販売量	売上高
ビューティー事業	3%	2%	1%	—%	—%	6%	3%	4%
グルーミング事業	-1%	1%	1%	-1%	1%	1%	-1%	—%
ヘルスケア事業	-3%	2%	2%	1%	-1%	1%	-3%	-1%
ファブリック & ホームケア事業	1%	—%	—%	—%	—%	1%	1%	—%
ベビー、フェミニン & ファミリーケア事業	-1%	1%	-1%	—%	—%	-1%	-1%	-2%
P & G 全体	—%	1%	—%	—%	1%	2%	—%	—%

(1) これらの純売上高に係る増減割合は、継続的に適用している計算方法に基づく概算値です。

(2) その他には事業の買収・売却による売上ミックスの影響、販売数量と純売上高との差異分析に欠かせない端数処理が含まれています。

- ビューティー事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ4%成長しました。ヘアケア部門の本源的売上高は、アジア太平洋地域とヨーロッパにおける販売数量の増加、ラテンアメリカとアジア太平洋地域における製品イノベーション主導の価格改定、ならびに、有利な地域ミックスにより、一桁台半ばの増加となりました。パーソナルケア部門の本源的売上高は、すべての地域における販売数量の増加と主に北米での価格改定が、不利な地域ミックスで一部相殺され、一桁台半ばの増加となりました。スキンケア部門の本源的売上高は、スーパープレミアムブランドである「SK-II」の成長にけん引される有利な製品ミックスが、中国での販売数量の減少で相殺され、前年同期比同水準でした。
- グルーミング事業セグメントの本源的売上高は、製品イノベーション主導の価格改定が、主にインド、中東、アフリカ地域における販売数量の減少、および、不利な製品ミックスで相殺されて、前年同期と同水準でした。
- ヘルスケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ1%減少しました。オーラルケア部門の本源的売上高は、北米と中国における販売数量の減少の影響により、一桁台半ばの減少となりました。パーソナルヘルスケア部門の本源的売上高は、主に北米での価格の引き上げと販売数量の増加により、一桁台半ばの増加となりました。
- ファブリック & ホームケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と同水準でした。ファブリックケア部門の本源的売上高は、主としてヨーロッパでの販売数量の増加と有利な製品ミックスによる効果が、主に北米での販売促進活動に対する投資で一部相殺され、一桁台前半の増加となりました。ホームケア部門の本源的売上高は、主に北米での販売数量の減少が、同じく北米での価格改定で一部相殺され、一桁台前半の減少となりました。

- ベビー、フェミニン&ファミリーケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ 2%減少しました。ベビーケア部門の本源的売上高は、中国における販売数量の増加と有利な製品ミックスが、価格の引き下げで一部相殺され、一桁台前半の増加となりました。フェミニンケア部門の本源的売上高は、主にヨーロッパでの販売数量の減少が、有利な地域ミックスの影響で一部相殺され、一桁台前半の減少となりました。ファミリーケア部門の本源的売上高は、販売数量の減少、販売促進活動に対する投資、ならびに、不利な製品ミックスにより、一桁台半ばの減少となりました。

2027 事業年度の見通し

P & Gは、2027 事業年度通期のすべてを含めた純売上高が前年度比 1~3%の範囲で増加すると見込んでいます。当社は、本源的売上高も前年度比 1~3%の範囲で増加すると予想しています。本源的売上高のこの見通しには、ブランドや製品形状の見直し、および、販売アプローチの見直しなどに伴う 30~50 ベースポイントのマイナス要因を含んでいます。

P & Gについて

P & Gは、高い信頼と優れた品質で、市場をリードする製品ブランドを世界中の人々にお届けしています。それらのブランドには、オールウェイズ®、アンビピュア®、アリエール®、バウンティ®、シャーマン®、クレスト®、ドーン®、ダウニー®、フェアリー®、ファブリーズ®、ゲイン®、ジレット®、ヘッド&ショルダーズ®、レノア®、オレイ®、オーラルB®、パンパス®、パンテーン®、SK-II®、タイド®、ヴィックス®、ウィスパー®などが含まれます。P & Gは約 70 カ国に現地事業拠点を置き、世界的に事業を展開しています。P & Gとその製品について、最新の詳しい情報は、米国本社ホームページ <https://us.pg.com> (英語)をご参照ください。その他のP & Gのニュースについては、<https://us.pg.com/newsroom> (英語)をご参照ください。